

語 研 便 り

大東文化大学 語学教育研究所 広報 (2023 年 12 月)

研究発表会のお知らせ

2023 年度、第 4 回研究発表会を下記のとおりオンラインで開催いたします。
ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時：**2023 年 12 月 18 日(月) 14 時 00 分～**

参加方法：本発表会は学内限定で Zoom を使用して開催します。

Zoom の URL、ミーティング ID 等は別途メールでお知らせします。

ご不明な点は、語学教育研究所までお問い合わせください。

①発表者：**タラカノフ・イゴリ 先生 (語学教育研究所 特別研究員)**

題 目：**外国人労働者数の増加と日本における英語の使用**

概 要：本発表は、外国人労働者増加による英語使用の増加と、日本政府の外国語使用政策との関係について、現在と将来の政府政策措置の変化をテーマとして取り上げる。日本での外国人労働者の増加が予想されることも、英語の使用の増加につながると仮定された。扱われているデータは日本政府の厚生労働省の統計に基づく。JICA(国際協力機構)の報告書は、将来の政策変更に関する政府の意見の代表的な資料として見られる。

②発表者：**小野 尚之 先生 (外国語学部 英語学科)**

題 目：**くびき語法と多義の諸相**

概 要：多義であること、すなわち、一つの語が複数の意味を表すことは、自然言語のもっとも顕著な特性であり、ほとんどの語は多義であると言ってよい。この発表で注目したいのは、多義的な解釈をもたらす意味同士が、文脈によって調和を見せたり、あるいは不調和に終わってしまう現象である。この現象を、「くびき語法」と呼ばれるレトリックの技法(「恋もスープもさめないうちに」のような表現)を通して可視化し、そこから見えてくる多義の諸相に焦点を当てる。

以上